
令和6年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年2月28日

質問者（質問順）

- 1 竹内 康洋 委員（公明党）
- 2 越久田 記子 委員（立憲党）
- 3 いそべ 尚哉 委員（維新会）
- 4 白井 正子 委員（共産党）
- 5 福地 茂 委員（自民党）
- 6 渡邊 忠則 委員（自民党）

港 湾 局

局 別 審 査

1 竹 内 康 洋 委 員 (公 明 党)

1 令和6年度予算について

(1) 令和6年度予算に対する所感について伺いたい。

(要望) 港湾機能の強化と脱炭素化に向けた取組を推進する予算として、令和6年度事業を力強く進めていくことを要望する。

2 横浜港の港勢について

(1) コンテナ取扱量について伺いたい。

(2) コンテナ船の寄港状況について伺いたい。

(3) 超大型コンテナ船の寄港状況について伺いたい。

(4) 内貿コンテナ取扱量について伺いたい。

(5) 完成自動車及び電気自動車の取扱量について伺いたい。

(意見) 日本を代表する自動車取扱拠点としての機能強化を期待する。

3 国際コンテナ戦略港湾の推進について

(1) D5コンテナターミナル再整備の目的について伺いたい。

(2) 現状の取組について伺いたい。

(3) 国による用地取得が競争力強化にどのようにつながるのか、そして用地の取得状況について伺いたい。

(4) 再整備後のコンテナターミナルの特徴について伺いたい。

(5) 再整備の見通しについて伺いたい。

(6) 今後の国際コンテナ戦略港湾の推進の決意について伺いたい。

(要望) 国と連携しながら、ハード・ソフト両面から様々な施策を横浜が先導的に推進し、国際競争力のある港づくりをすることを要望する。

4 完成自動車取扱機能強化について

- (1) これまでの完成自動車取扱機能強化について伺いたい。
 - (2) 大黒ふ頭の自動車取扱拠点としての強みについて伺いたい。
 - (3) 専用ターミナルのメリットについて伺いたい。
 - (4) 電気自動車への対応について伺いたい。
- (要望) 東日本最大の自動車取扱拠点として、大黒ふ頭における完成自動車取扱が増加するよう、一層の機能強化の取組を要望する。

5 豊かな海づくりの取組について

- (1) 海底ごみ回収事業のこれまでの取組状況について伺いたい。
 - (2) 海底ごみ回収事業の今後の展開について伺いたい。
 - (3) これまでの本市のブルーカーボンの取組について伺いたい。
 - (4) 護岸を活用した取組について伺いたい。
- (意見) ブルーカーボンの拡大・推進を迅速かつ着実に進め、カーボンニュートラルレポートを早期に実現することを期待する。

6 新港ふ頭客船ターミナルについて

- (1) 令和5年の新港ふ頭におけるクルーズ船寄港実績について伺いたい。
- (2) 歩行者デッキの整備状況について伺いたい。
- (3) 新港8号ビジターバスの利用実績について伺いたい。
- (4) 水上交通の状況と今後の展開について伺いたい。
- (5) ベイブリッジのライトアップについて、LED化をするなど、国土交通大臣や首都高速道路株式会社に継続して要望すべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 国際競争力のある港における働きやすい環境づくりについて

(1) ロジスティクス施策の取組状況について伺いたい。

(要望) コンテナターミナルに近接したロジスティクス拠点の形成は、重要な施策でもあり、しっかりと進めることを要望する。

(2) 本牧ふ頭A突堤へのバス路線の現状と今後の課題について伺いたい。

(要望) 港で働く人々の声も聴きながら、交通局と連携した公共交通機関の充実、港の事業者と協力した乗客数確保の取組などに引き続き取り組むことを要望する。

(3) 埠頭内の女性用設備の整備について伺いたい。

(4) 働きやすい環境づくりのために個々の労働者の声をよく聞くべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 港湾で働く一人一人の声に丁寧に対応し、横浜港に人材が集まり、横浜港の機能が引き続き強化されるよう施策を進めることを要望する。

2 横浜港ならではの水際線の賑わい創出について

(1) 水際線の回遊性を高めるために行っている取組について伺いたい。

(2) ペットと一緒に訪れることのできる取組について伺いたい。

(3) 水際線を歩きたくなる取組について伺いたい。

(意見) 車椅子の方や、ベビーカーを利用する方も、安心して水際線を回遊できる、誰もが楽しく快適な空間となることを期待する。

(要望) 天気等に関わらず水際線を楽しめるよう、SNSで天気や季節に応じた情報発信を行うことを要望する。

(要望) 特に子育て世帯に楽しんでいただける情報を来年度開始される子育て応援サイト・アプリで発信していくことを検討するよう要望する。

(4) 水上交通の現在の取組状況について伺いたい。

(要望) 水上交通ネットワークが拡充し、さらなる広域への展開、大黒ふ頭等への賑わいづくりへと拡大することを要望する。

(5) スカイウォークの活用について伺いたい。

(要望) 訪れた方に楽しんでいただき、さらに横浜港への関心を深めていただくため、引き続きスカイウォークの積極的かつ有効な活用を図ることを要望する。

(6) 水際線における賑わい創出の取組を局横断的に一体となって進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 国内外からさらに多くの観光客に訪れていただき、市内経済が大いに活性化することを期待したい。

(要望) 水際線の賑わい創出の観点から、山下ふ頭再開発事業にも、次世代を担う若者の声を取り入れて事業を進めることを要望する。

3 豊かな海づくりについて

(1) 生物共生型護岸の特長について伺いたい。

(2) 臨港パーク先端部の藻場・浅場整備に向けた考え方について伺いたい。

(3) 臨港パーク先端部での藻場・浅場形成後の活用方法について伺いたい。

(4) 臨港パーク先端部で得られる知見を、今後の他の場所での藻場・浅場の形成に生かしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 横浜の港全体、長い水際線全体が、生物多様性、水質改善、脱炭素対策に寄与する実証実験の場となり、そこから得た知見がさらなる環境保全の取組へと波及していくことを期待する。

3 いそべ 尚 哉 委員（維新会）

1 国際競争力のある港湾について

- (1) 横浜港の強みをどう活かし、来年度、中期計画に沿ってどのように進めていくのか伺いたい。
- (2) 社会情勢の変化が急速な中、来年度、国際競争力をどのように強化していくのか伺いたい。
- (要望) 中期計画に基づき、「市民生活と経済活動を支える都市づくり」を実現するため、「国際競争力のある総合港湾づくり」をより一層進めることを要望する。

2 電気自動車（EV）の輸出入拠点としての機能強化について

- (1) 電気自動車（EV）の輸出入拠点として環境負荷の低減をどう図っていくのか伺いたい。
- (2) 戦略的なパートナーシップ構築やマーケティング活動についての具体的な取組について伺いたい。
- (要望) 横浜港が自動車の輸出入拠点として発展し続けるために、電気自動車への対応も含めた機能強化や、メーカーとの連携を戦略的に進めることを要望する。

3 クルーズ船の受入れと市内観光の促進について

- (1) 旅客が市内での滞在時間を増やすため、観光の側面で都内や他都市にない優位性をどう表現し、市内観光への促進につなげていくのか伺いたい。
- (要望) 市内経済の活性化のために、クルーズ船の受入れと市内観光促進の取組を前進させることを要望する。
- (2) YOKOHAMA TRAVEL GUIDEの利用状況について伺いたい。
- (意見) 更なる利用促進に向けた検討を行い、横浜の観光情報の効果的な発信ができるよう、アプリの規模感も高めて進めることを期待する。
- (3) 市内での滞在時間や消費行動の分析状況について伺いたい。

(要望) クルーズ客の動向をしっかりと分析し、より一層の観光促進につなげていくことを要望する。

4 水上交通について

(1) 民間事業者と連携した水上交通の取組状況について伺いたい。

(2) 「よこはま運河チャレンジ」の効果や今後の取組について伺いたい。

(3) 水上交通網の拡充について伺いたい。

(意見) 回遊性の向上や、賑わいの創出を図り、市内経済への波及につながるよう、民間事業者との連携を深め、さらなる水上交通の充実を期待する。

1 埠頭の防災対策の充実について

- (1) 地震防災戦略の見直しにあたり、局として、埠頭のハード・ソフト対策の両面が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 海岸保全施設整備のスピードアップをすべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 完成時期を示して、海岸保全施設の整備をスピードアップすることを要望する。
- (3) 埠頭ごとの避難訓練の実施を支援するなど、さらなる対策が必要と考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 大黒ふ頭には客船ターミナルや海釣り施設もあり、一時的滞在者も多く、関係者を含めた避難誘導が重要になるため、対策を検討することを要望する。
- (4) 横浜港便利MAPに津波避難場所も示すべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 働きやすい環境づくりについて

- (1) 働く人の安全を最優先に、C2バースバス停付近の交差点に横断歩道を設置し、歩行者の安全な動線を確保するよう検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 安全を最優先として、横断歩道の設置の検討をさらに進めることを要望する。
- (2) 女性労働者の利便性向上を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 埠頭で働く人の働きやすい環境づくりを進めることを要望する。

1 集貨について

- (1) 東日本各港湾との連携とポートセールについて伺いたい。
- (2) ドライバー不足への対応について伺いたい。
- (3) 横浜港における内航船の受入れの対応について伺いたい。
- (要望) 国際コンテナ戦略港湾として、基幹航路の維持・拡大に向けて、集貨施策にしっかり取り組むことを要望する。

2 創貨について

- (1) 横浜港が創貨に取り組む意義について伺いたい。
- (2) 横浜港におけるロジスティクス拠点形成の効果について伺いたい。
- (3) 取扱貨物量への効果について伺いたい。
- (4) 今後の取組について伺いたい。
- (要望) ロジスティクス拠点の形成を着実に進めることを要望する。

3 新本牧ふ頭の整備について

- (1) 新本牧ふ頭の進捗状況について伺いたい。
- (2) 進捗は順調なのか伺いたい。
- (3) 建設発生土の受入の見通しについて伺いたい。
- (4) アクセス道路の考え方について伺いたい。
- (5) 今後の整備の見通しについて伺いたい。
- (要望) 国や東海旅客鉄道株式会社等、関係者と連携しながら、着実に進めることを要望する。

4 清掃船について

- (1) 港湾局が海上を清掃する法的根拠について伺いたい。
- (2) 海上清掃の範囲と頻度について伺いたい。
- (3) どのような仕組みの船なのか伺いたい。

(4) 海上清掃について、どのようにPRを行っているのか伺いたい。

(要望) 安全できれいな海を守る取組を市民、子供たちにも広く知っていただけるよう取り組むことを要望する。

5 山下ふ頭の再開発について

(1) 検討委員会の役割について伺いたい。

(2) 検討委員会の議論のまとめ方について伺いたい。

(3) 事業化に向けた今後の取組について伺いたい。

(4) 山下ふ頭の再開発では、市域全体を視野に入れて検討していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 丁寧に議論し、議会とも連携して慎重に山下ふ頭再開発を進めていくことを要望する。

6 横浜第二港湾合同庁舎跡地の活用について

(1) 移転後の跡地について、活用を図っていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 国との連携を強化し、山下ふ頭から山下公園、そして大さん橋国際客船ターミナルにつながるエリアにおいて、横浜港全体を見据えながら横浜第二港湾合同庁舎跡地を有効活用することにより、港の活性化につなげていただけるよう要望する。

1 地震・津波対策について

(1) 耐震強化岸壁の役割と整備状況について伺いたい。

(2) 海岸保全施設の役割と整備状況について伺いたい。

(3) 横浜港のBCPについて伺いたい。

(要望) 災害への備えとして必要な施設整備を計画的に進めるとともに、関係者と連携して、港湾BCPの確実な実行に向けて、引き続き横浜港の防災力の強化に取り組むことを要望する。

2 クルーズ船の寄港促進について

(1) 令和5年のクルーズ船寄港状況と令和6年度の寄港見込みについて伺いたい。

(2) クルーズポートとしての横浜港の強みについて伺いたい。

(3) 大さん橋国際客船ターミナルにおける受入機能強化について伺いたい。

(4) スカイウォークの利用状況について伺いたい。

(5) スカイウォークへのアクセス向上について伺いたい。

(要望) さらなる賑わいの創出と市内経済の活性化のため、大黒ふ頭における水上交通ネットワークの展開を、早期に実現するよう要望する。

(6) クルーズ乗客への観光促進による市内経済の活性化に向けた取組について伺いたい。

(要望) クルーズ船と市内観光・宿泊を繋げる取組を推進することを要望する。

3 臨港パーク先端部の整備について

(1) 工事の進捗状況について伺いたい。

(2) 先端部の具体的な施設整備について伺いたい。

(3) 緑地の活用策について伺いたい。

(4) 整備スケジュールについて伺いたい。

(5) 都心臨海部の新たな賑わい拠点とすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 臨港パーク先端部が特徴的な新たな魅力を発信できるよう、しっかりと取り組むことを要望する。

4 カーボンニュートラルポートの形成について

(1) 横浜が目指す脱炭素イノベーションの方向性について伺いたい。

(2) アンモニア燃料タグボートの実証運航について伺いたい。

(3) 横浜港におけるグリーンメタノールの供給の実現に向けた進め方について伺いたい。

(4) 陸上電力供給設備の今後の展開について伺いたい。

(5) 川崎市との連携について伺いたい。

(6) 今後のカーボンニュートラルポート形成の取組について伺いたい。

(要望) カーボンニュートラルポート形成により、日本の港湾をリードし、世界に選ばれる港として国際競争力を強化することを要望する。